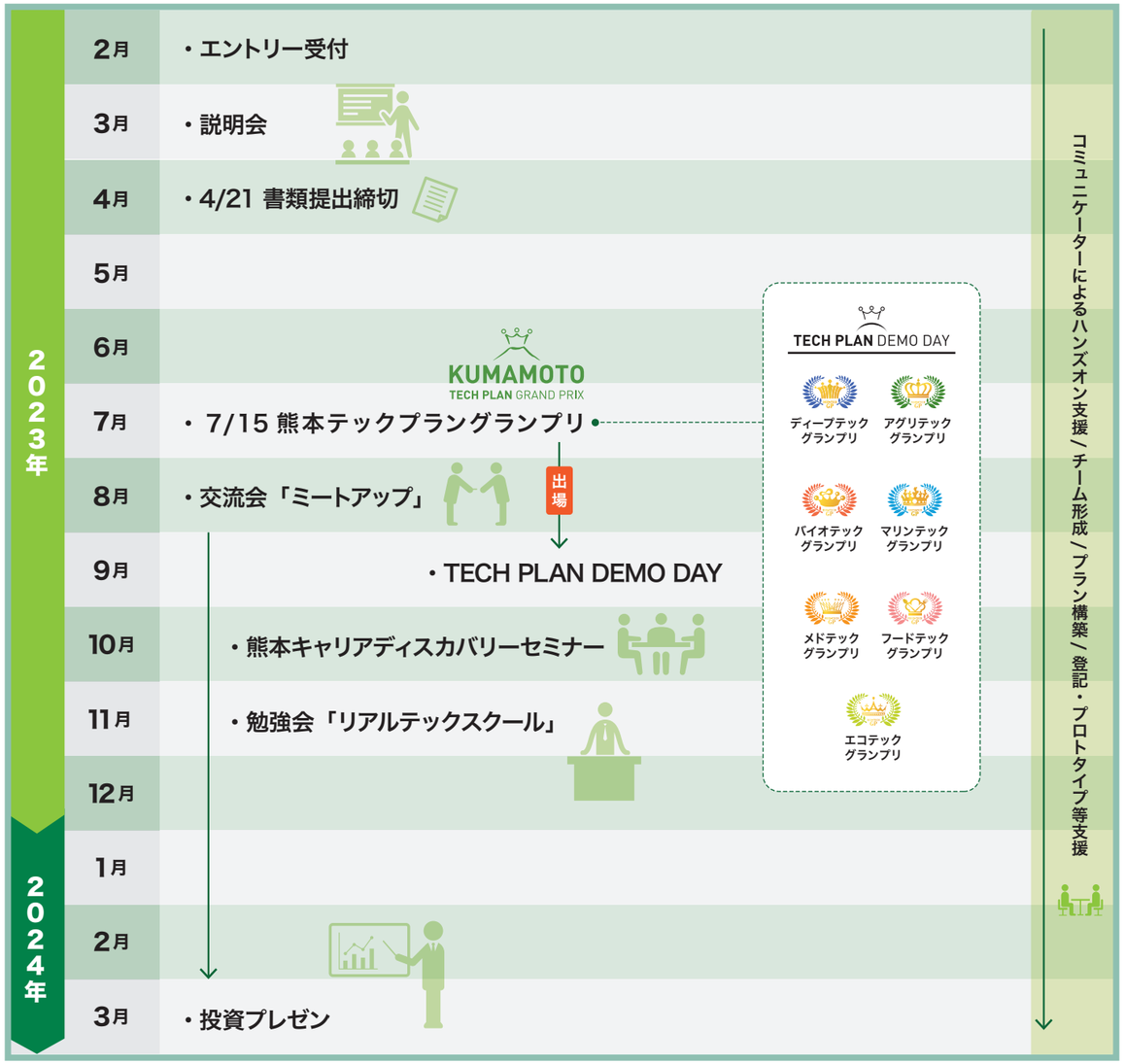
第８回熊本テックプラングランプリ　聴講者募集

熊本テックプランターは、アグリ、バイオ、ヘルスケア、ものづくり等の自然共生型産業の創出に向けて、技術と情熱をもって熊本から世界を変えようとする起業家を育成する創業応援プログラムです。プログラムの一環として次世代ベンチャーコンテスト「第8回熊本テックプラングランプリ」を開催します。書類選考を通過したファイナリストの熱いプレゼンテーションが繰り広げられますので、たくさんのご参加をお待ちしています。

第8回 熊本テックプラングランプリ

日時：2023年 7月15日（土） 13:00-16:40
場所：肥後銀行本店 2階大会議室

KUMAMOTO TECH PLANTER 2023 予定



お問い合わせ先

株式会社リバネス　担当：西村、福田
〒162-0822　東京都新宿区下宮比町1-4飯田橋御幸ビル5階
TEL：03-5227-4198　/　MAIL：LD@Lnest.jp

KUMAMOTO TECH PLANTER

技術シーズ発掘および次世代ベンチャー創出プログラム

KUMAMOTO TECH PLANTER

主催：熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアム

熊本県 / 株式会社肥後銀行 / 国立大学法人熊本大学 / 一般社団法人 熊本県工業連合会 / 株式会社リバネス

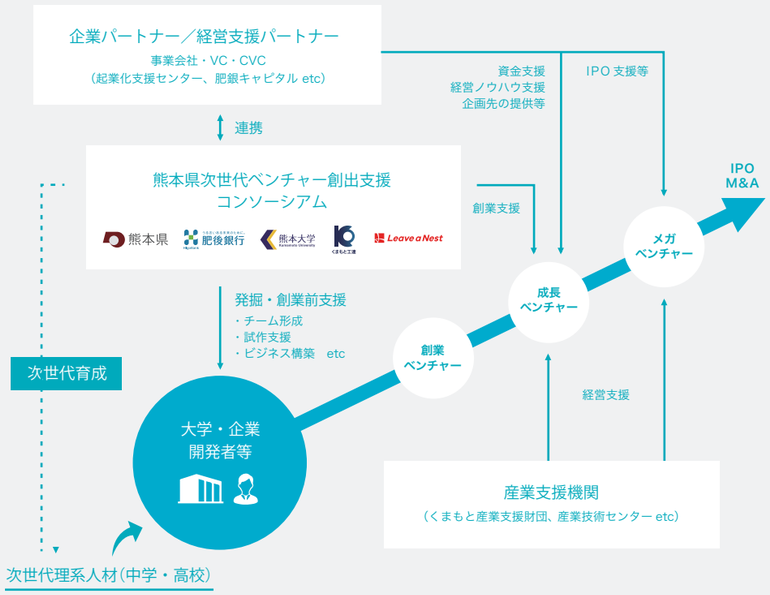
熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアム

熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアムでは、創造的復興に向けて熊本から世界へと歩みを進めたいというパッションを持った、研究者、企業の方々を、各機関が自らの強みを生かして応援し、世界を変えようとするベンチャー企業の創出を目指しています。

01 Vision

熊本に新産業が生まれるエコシステムを作る

「県内に眠る研究シーズの社会実装を促進し、次世代ベンチャーを発掘・育成することで熊本に活力と雇用を生み出し、未来の礎を築く」産官学金の本コンソーシアムの活動はこのビジョンをもって活動しています。熊本には熊本大学をはじめとする研究機関の他、地元企業などで研究が進められています。その一方で、研究シーズを産業につなげる、そのスタート地点となるゼロからイチを生む支援が不足しています。「社会の課題を科学・技術で解決する」という研究者の情熱を形にすることこそ、産業が生まれる種になると考え、コンソーシアムは活動しています。



02 Program

研究者の新しい一歩を応援するプログラム

熊本テックプランターは、研究者と対話し、研究にかける想いを聞くことからスタートします。その後、コンソーシアムのコミュニケーターが研究者と一緒に想いを実現するためのビジョンを描き、コア技術をわかりやすく伝えるためのプレゼンテーションを作ります。その後、プランを発表し、パートナー企業との接点を作る熊本テックプラングランプリや会社経営や知財法務を学ぶリアルテックスクール、地元ものづくり企業との交流や学生との交流などの機会を設けています。また、資金調達を必要としてる企業はベンチャーキャピタルや金融機関にむけた事業計画を発表することが可能です。これらのプログラムに加えて、7年間活動してきた中で研究者やベンチャー企業の声を聞き、各機関が独自の支援体制を構築していることも熊本テックプランターの大きな特徴です。

熊本県次世代ベンチャー創出支援事業化可能性調査事業
熊本テックプランターのエントリーチームを対象として、概念実証（試作品開発や市場調査、特許調査等）を支援。

肥銀ギャップ資金制度・ベンチャーファンド
研究者の事業化にむけた研究プランに対して研究費を支給。研究開発型ベンチャー企業を対象としたベンチャーファンドを新設。

熊本大学発ベンチャー認定制度
大学発ベンチャーに対して登記場所の提供や代表者の兼業を可能とする認定制度。

03 Achievement

7年間で16社のベンチャー企業が熊本に誕生

これまでに186チームがエントリーし、そのうち16社のベンチャー企業が誕生。延べ10チームが21億円の資金を調達しました。

熊本テックプランターから生まれたベンチャー企業

- 株式会社サイディン
- 株式会社キュオール
- クアドリティクス株式会社
- 株式会社熊本機械
- 合同会社プロバイオ
- 株式会社C-HAS＋
- 歯っぴー株式会社
- 株式会社salmontech
- 株式会社ケイ・アイ・ステイナー
- サイエンスファーム株式会社
- 株式会社CAST
- 株式会社チャーリーラボ
- 株式会社StapleBio
- 合同会社LST
- 株式会社くまもとファーマ
- 株式会社P&A

◎熊本テックプランターメンバー
（2023 年 3 月 1 日現在）

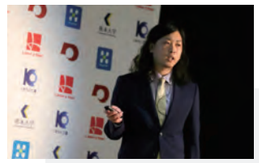
186 チーム
企業 77 社
研究者・学生 109 チーム

◎法人化チーム数
16 チーム

◎外部資金調達
累計 21.2 億円

04 Voice

新しい一歩を踏み出した先駆者たちの声



熊本の次世代のために挑む

株式会社サイディン
代表取締役社長　弘津辰徳氏
（第1回熊本テックプラングランプリ最優秀賞）

弘津氏は博士学生時代に研究に没頭する一方でキャリア選択に閉塞感を感じ、起業を選択肢としてぼんやり考えていたが、何をどうすればよいかわからなかったと言う。研究をビジネスにするという選択肢を熊本テックプランターで初めて知り、プログラムを通じて仲間に刺激を受けながら経営者として成長してきた。創業から6年を迎え、弘津氏は、「大学発シーズからの医薬品開発は成功事例が少ない。けれど、難しいと言われるこの課題に挑み続けることで、かつての自分のような熊本の学生に少しでも希望を与えたい」と語る。

積み重ねた経験を伝える立場に

トイメディカル株式会社
代表取締役社長　竹下英徳氏
（第２回熊本 テックプラングランプリ あつまるホールディングス賞）

竹下氏は仲間のすすめで熊本テックプランターにエントリー。当時はまだ研究開発段階だった「塩を排出する」サプリメントのプランを披露した。全く新しいコンセプトを商品化して販売を拡大することは容易ではなく、もどかしさを抱えていた竹下氏の背中を大きく押したのがコンソーシアムの活動だった。県のプログラムで予備的な臨床試験を実施し、投資プレゼンがきっかけで事業会社との資本業務提携を行った。「今までいただいてきた恩を今度は私が返していく番です。私ができることはなんでもします」と語る竹下氏は、2020年から熊本テックプランターのパートナー企業として後輩ベンチャーを育てる側にも立っている。

二足の草鞋で社会実装を進める

株式会社 CAST
代表取締役　中妻啓氏
（第２回熊本テックプラングランプリファイナリスト）

株式会社CASTは熊本大学の若手研究者によるチームとして2017年に熊本テックプランターにエントリーし、大学の制度も活用しながら、2019年に会社を設立した。中妻氏は、大学の研究者として企業と長年、共同研究を行っても製品化に結びつかずに消えていく事例をみてきて、「それなら、自分達で製品を世に出した方が、研究成果を早く社会に届けられる」と考えた。起業後はプロトタイプの開発や仲間作りを行い、2021年にはベンチャーキャピタルから資金調達を行った。中妻氏はコンソーシアムによる支援について「会社ができる前から、コミュニケーターが伴走してくれていることが、なによりも心強い」と語る。